

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

## グループワーク 2 B班

(F) よろしく願いいたします。

そうしたら、早速ですけれども、用紙の確認は先ほど木村さんにさせていただきましたので、1番、宿主が協力してグループワーク1でまとめた結果について紹介します。どうしても説明しづらいところはサブファシリテーターにも手伝ってもらってください。すみません、宿主の方、手を挙げていただけますか。そうしたら、説明をお願いします。

—— 私たちのグループでは、大きく分けて3つ、「技術の問題」と、「人の問題」と、こちらは判断に困るところですが、とりあえず「中間の問題」ということにしたのですが、組織的な問題もあるので、「組織の問題」というグループに分けました。

まず、「①技術の問題」から紹介します。まず、単純に〔エネルギー問題〕。原発を止めるにしても、代替エネルギーはどうするのか、そのまま原子力発電を続けていくのか、そういうエネルギー問題が1-1です。次に、原子力発電にしても、その他の代替発電についても、安全性に対して市民から必ずや不安が出るだろうと。3つ目は、私が言った意見なのですけれども、原子力を利用する上で、例えば発電に使っていることは皆が分かっている。だけど、例えが悪いのですが、放射線は医療に使われたりしているのですけれども、それがどれくらい身近にあるのかを、一般の方々はちゃんと理解しているのか。利用の問題でどのように理解しているのか、ということをお私述べました。それに対して、私の例えが悪かったということもあると思うのですけれども、原子力と放射線は別物ではないか、という意見がありました。

—— 原子カムラといったときに。

—— そうですね、別物ではないのかという意見がありました。次の意見ですが、専門家自らが使う場合は良いイメージがあると思うのですけれども、他人から使うと、ええと、これはどういう感じでしたっけ？

—— ええと、「原子カムラ」は集団なので、自分たちでまとまっている中では、非常にまとまっていて良いイメージなのです。ところが、逆に、まとまっていることによって、外部から見ると、入れない雰囲気がある。それで悪いイメージだということなんです。

—— ああ、そうですね。

(F) ムラの人たちは、自分の使うものと思っているから、ムラの中では良いイメージだけれども、ムラ以外の人から見ると、悪いイメージがあると？

—— そうです。閉鎖的な。

—— そうです。閉鎖的な観点から、マニアックすぎるのではないかというイメージも挙がっています。

—— [自治体のほうが強い] というのは？

—— これは、確か、例えば原子力発電をするときに、常に自治体の同意を得ないとやっていけないという話でしたよね？

—— そうですね。

(F) 地元の合意がないと動かさないというイメージですか？

—— はい。

(サブ F) 振り回されるという話です。

—— ここは大丈夫ですか？

では、次に、「③人の問題」にいきましょうか。まず、説明責任の問題で、相手のことを理解しようとしていないという意見。一般の方々と専門家の間では、知識の格差が必ずやあるはずです。専門家の方が、専門的な知識、あるいはこういう見解だということを発表する機会もあると思います。でも、そういう発表をしても、専門的すぎてよく分からない。そして理解することを投げってしまう方もいると思います。次は、[知っていることと知らないこと]。私たち一般市民が、専門の方々から投げかけられる見解や論文を理解している可能性もある、理解していない可能性もある、ということで私はこれを取り上げました。これに対して、他の方から意見があったのですけれども、知っていることと知らないことを明確にすべきだと。あるいは、教えることを明確にすべき、という意見もいただきました。次に、この[差別用語]は、どう説明したらいいですかね。

—— 「何々ムラ」とか「何々部落」というのは差別用語なのですね。相手を蔑んだり、何か悪いことをしているのではないか、そういうイメージを受けるという話でした。

(F) ああ、悪いイメージのレッテルみたいなものを、

—— はい。そういう話だったと思います。

—— 大丈夫ですか？

では、真ん中の話です。この〔マイナスのイメージ〕は、技術もあるし、人もあるし、組織もあるし、たぶん全体に関わってくるのだと思うのですけれども。

(F) 原子カムラという言葉がマイナスのイメージである、という意味でしょうか。

—— 〔小さな集団〕は組織の問題ですね。あまりにも原子力分野は専門的すぎるじゃないですか。だから閉鎖的で、完全に身内で、という意見です。あ、この辺は説明を交代したいと思います。ご本人から説明していただいたほうがいいと思いますので。

—— 何か行動を起こすときには、必ず説明責任が伴うはずですよ。それを怠っていた。アカウンタビリティーがなかったのが、原子カムラにそういう悪いイメージが定着したのではないかと、という意見です。

(F) 言葉の定義の確認ですけれども、アカウンタビリティーというのは、どういう意味で使われていますか？

—— 説明責任です。

(F) 説明責任という意味ですか。分かりました。

—— では次です。これは私の意見ですけれども、目に見えないものと。

(F) 目に見えない放射線をどうやって測るのか、みたいな話ですか？ それとも、

—— それもちろんありますけれども、知識がないわけですから、完全に理解できないということは、見えないのと同義だと思ったので。一般の方々が、見えないというか、分からない。そうすると、確実に不安に思いますよね。

(F) 放射線は見えないという話と、原子カムラというものがよく分からないという話と、2つの意味で使われているのですか？

—— どちらかと言えば、全てですね。原子力に関わるもの全て。

(F) なるほど。原子力は全部よく分からんと。

—— はい。その中に放射線ももちろん入っています。そういう意味で私は書きました。では次です。[仲間うち]も、[小さな集団]と同じように考えていただければいいと思います。これも難しいですよ、[利益共同体]。

—— これは、原子カムラは利益共同体となっているから、悪の巣窟というか、そういうイメージがあるのではないかという意見です。[自らでは戻れない]というのは、大きな動きになってしまうと、自分自身では調整ができなくて、どんどん先に進んでしまうということです。

—— もう取り込まれてしまうと。

—— そういうイメージですね。

—— これで全部です。大丈夫ですか？

—— あと、田中知先生は、

(F) 先ほどのパブリック・アウトリーチの紹介に出ていましたけれども。

—— 要するに、原子カムラの村長さんというイメージですね。

(F) 原子カムラの方なのではないか、という意見があったということですね。

(サブ F) そして、それは「人」ではなくて「組織」の問題であると。象徴したものであるということでした。

—— これで全部になりますけれども、大丈夫ですか？

(F) ありがとうございます。何か補足がありましたら。

—— ええと、だいたい全部説明していただいたと思います。

(F) そうしたら、今の説明を聞いて、ここはもうちょっと聞きたいとか、実は分かっていないけれども分かったふりをしていたとか、そういうことがありましたら。そちらの方、どうですか？ 何でもいいので、気軽に。

—— 原子カムラというのが差別用語なんでしたっけ？

—— ええ。

—— おそらく、これを発表された方は、「ムラ」という表現があまり良くないとか、そういうふうに思われていて。

—— この付箋に補足で「ムラという用語」と書いてもらえると、パッと見て分かるようになりますよね。補足で書いていただいていた方がいいですか？

(F) なるほど。ムラという用語が差別用語であると。

—— 「何」が差別用語なのか分からないので。

—— ムラ社会とか、部落社会とか、部落問題とか、差別問題に使われているのですよね。

(F) 今のご指摘は非常に重要だと思います。こういうところを明確にしないと、すれ違ってしまうことが結構あるので。ありがとうございます。

—— 他は大丈夫ですか？

(F) そちらの方は何かございますか？

—— 今おっしゃった通りで、「ムラ」という言葉は、村八分とか、やはりあまりいいイメージがないですね。

(F) そちらの方、何かありますか？

—— 2-6に、医学界は改善されたとありますが、改善されたのですか？

—— いわゆる「ムラ社会」って、閉鎖的な社会というイメージがありますよね。その中

でも特に、従来的には、医学界は非常に閉鎖的だと言われていました。ところが、ある時期にいろいろな問題が起きて、先ほど言った説明責任を果たすように、個々のお医者さんが徹底するようになったのです。それでかなり閉鎖性が改善されたと。

—— なるほど。

—— その後はあまり閉鎖的だと言われなくなったような気がします。

(F) それは、お医者さんにかかったときに症状を詳しく説明するとか、大きい手術の前にこういうことをやりますと説明するとか、親族はちゃんとサインしてくださいとか、そういう話ですか？

—— そうです。

—— 了解です。

—— 以前はそれがなかったのですよね。

(F) そうですね。話してくれる先生はちゃんと話してくれるけど、あまり話してくれない先生は話してくれないと。

—— あれ？ まだ徹底されていないのですか？

(F) いや、昔はそうだったという話です。でも、今は制度的にちゃんとやっていて、私の母が手術をしたときも、ちゃんと説明を聞いて、サインをしないと手術できませんと言われたので、急いで行って、急いで書いて。まあ、それは余談ですが。ありがとうございます。

そうしたら、続きまして 3 番、ファシリテーターも含めて各自が、自分が同意できる意見を 3 つ選び、付箋に貼ってくださいということです。

—— ここに貼るのですか？

(サブ F) そうです。どうぞ。

(F) 速やかに貼ってください。

—— (シールを貼るのは) 番号の隣がいいですね。

(シールを貼る)

(サブ F) (席が) 固まってしまったので、赤と青の方が交互になるように、席を変えていただけますか。ありがとうございます。

(シールを貼る)

—— ムラが設立されてどのくらい経っているのですか？

(F) 言葉ができたのはかなり前だそうです。私もインターネットのウィキペディアで見ただけですよ。かなり昔から使われている言葉だと思いますけれども、でも、今みたいに差別用語みたいな使われ方をし出したのは、

—— 組織自体は古いのですか？

(F) 組織自体というか、利益共同体という意味で原子カムラという言葉を使おうとするならば、日本で原子力発電などを始めたときにできた、という解釈はできるのかなと。逆に、差別用語という意味ならば、最初はたぶんなかったのですよ。差別的な意味では使っていなかったのです。

—— 3.11 からかな？

(F) いや、昔もあったのはあったみたいですね。インターネット情報ですが。

(総合 F) サブファシリテーターさん、あと 20 分です。よろしくお願いします。

(F) あ、やばい。

ありがとうございます。そうしたら、模造紙をしっかりと見てください。見るポイントとしては、どこにシールが多く貼られているかということを見るのでしょうか？

(サブ F) あまり数は関係ないです。

そして、見た後に、気づいたことを書き出していただくことになります。

(F) では、見ていただいて、気づいた点を付箋にどんどん書いてください。

(サブ F) 約 3 分ということなので、測らせていただきます。

(F) お願いします。

(記入中)

(サブ F) 3 分経ちました。少しまいて進行していただけると助かります。

(F) ありがとうございます。サブファシリテーターさんから、まいてくれと言われたので、まいていきたいと思います。

そうしたら、自分の意見の発表をお願いしたいと思います。

では、私からしましょうか。パッと見た感じ、市民の方と専門家の方の両方がシールを貼っている意見と、別々に貼っている意見に分かれているなど。

両方が貼っている意見としては、1-1 の〔エネルギー問題〕ですね。これは市民の方と専門家の方と、両方貼っていますね。

あとは〔利益共同体〕です。市民の方も専門家の方も、利益の共同体という考え方があるのかなと思いました。

面白いと思ったのは、〔説明責任が果たされていないから〕という意見には市民の方が、〔相手を理解しようとしないう〕というところには専門家がシールを貼っていると。お互いに相手が悪い、相手が悪いという書き方になっているのが面白いなど。

—— こちらは、相手「を」理解しようとしないう、なので、自分が悪いという自省ですね。

(F) あ、すみません。失礼しました。そうしたら今の意見は剥がします。

あと、〔差別用語〕という認識を持っているのは実は専門家だけと。一般の方からすると差別なんかしているつもりはないよ、という感じにも読めるなどと思いました。

それでは、次の方、お願いします。

—— 私は 2 つですね。実際に世代的に見て、

(サブ F) 下に貼っていただけますか。

—— スリーマイルとかチェルノブイリがあつて、私の知っているドクターもチェルノブイリに 3 か月くらい行っていたのですけれども、歴史上の安全性を見て、実際に今また使っていますよね。私が子供の頃は、ビキニとかで、放射能で、外に行つて雨にぬれると頭

が剥げちゃうよ、散々そういう教育を受けてきたのですけれども。でも、まだ剥げていません。

原発に関しては、停止までのタイムスケジュール。

それに関連して、私は結構世界を旅行しているのですけれども、電力のない地区の悲惨さは、福島と匹敵しますよ。だから、プライオリティをどこにするのか。

(F) 分かりました。エネルギーと安全性に関して書いていただいたと。

— はい。

(F) そうしたら、次の方、お願いします。時間がないということなので、少しまき気味でお願いします。

— 今のエネルギーのプライオリティのお話とまったく同じことですが、単なるエネルギー問題ではなくて、生活レベルとか、国力とか、競争力とか、いろいろな面で議論すべきだと思います。

それから、とにかく相手の話を聞く態度を身につけるといことですね。

(F) それでは、次の方。

— 私もエネルギー問題に関する意見ですけれども、原子力に代わる発電はあるのかどうか。今、原子力はほとんど動いていないじゃないですか。北海道の泊原発も動いていない。寒くて死んじゃうと。先ほど言われたように、生活レベルで困るということもあるので、原子力に代わる発電はあるのか、という思いはあります。

(F) では、次の方、お願いします。

— 「説明責任」という意見を専門家が出して、皆さんも同意されているということで、説明責任に答えられなかった現状というのを深く痛感します。

一方で、エネルギー問題や安全性について、「ムラ」というのはかなり差別的な、ネガティブなイメージなのですが、単純に単位としてムラに対してこういう期待をしているのだという一般の皆さんの意見もあるということを感じました。

(F) ムラに対する期待なのか、原子力に対する期待なのかというと、どちらですか？

— 私は、あえて「ムラ」と書いたのですけれども。

(F) 分かりました。

では、次の方、お願いします。

—— 改めて、原子力である理由は、エネルギー問題と深いのだなと思いました。

あと、私は安全性にシールをつけたのですけれども、使用済み（燃料）の安全性について語られていなかったのではないかと、思いました。

(F) そうしたら、それは〔「ムラ」への期待がある〕の下に貼っていただければ。

—— はい。

あと、こちらにもシールを貼ったのですけれども、ムラは利益を得ているけれども、本当のリスクを知っていたのか。情報不足ではなかったのか。（貼る位置は）こちら辺でしょうか。以上です。

(F) ありがとうございます。

そうしたら、これは特に話し合わないので、7番に進みます。今のご意見を受けて、「なるほど」と思う意見を1つ選んで、その意見を手元の付箋に書き写していただけないでしょうか。

(サブ F) では、今出てきた意見にも番号も振りますね。

(F) そうしたら、この番号を書けばいいのですか？

(サブ F) 3-1とか、アイウとか、なるほどと思った意見の番号を写してください。あと、文章も付箋ごと写してください。だから、付箋が都合2枚以上になるということです。

(F) ああ。書き写した後に、なるほどと思った理由を書くということですね。

そうしたら、3分くらいでお願いします。

—— グループワーク1の模造紙を見て、とありますが、アとかイとかを選んでもいいということですか？

(サブ F) そうです。全部合わせて、その中からなるほどと思ったものをお選びください。

(記入中)

(サブ F) こんなふうに、付箋そのものを書き写していただき、その上でここに貼っていただくという形になります。

(記入中)

(サブ F) 「なるほど」と思う意見は1つだけ選んでください。それに対するご自分の意見はいくつでも構いませんけれども、選ぶのは1つです。

あと1分くらいです。

(記入中)

(サブ F) 「なるほど」と思った理由を書いてください。いくつでも構いません。

模造紙のこの辺りに線でも引きましょうか。線の上に「なるほど」と思った付箋を貼って、線の下に理由を貼っていく、という感じで。

はい。3分経ちました。

(F) そうしたら、1人ずつお願いします。

では、また私からいきますけれども。私が「なるほど」と思ったのは、オですね。〔原子力である理由はエネルギー問題と深い〕。まさにこれが、原子力が必要な理由で、エネルギー問題を解決するのが重要だということを、専門家だけではなくて市民の方も考えているのだなということが分かって、うれしいというものもあって、書きました。

では、そちらの方。

—— 私は、ウです。歴史上の安全性は、もう総括されているのですよ。で、実際に直近の電力確保ができるのだったら原子力は停止と。

(F) [エネルギーのプライオリティ 電力確保] に対して、ええと、過去の歴史上の事項を総括？

—— スリーマイルとチェルノブイリでだいたい結論が出ていますよ。

—— 私は、コを選びました。〔「説明責任」への指摘に答えられていない現状〕とあるのですけれども、その奥には、お互いにお互いの話を聞かないという雰囲気があるのですよね。ただ、大人数になってしまうと、イデオロギー論争になって、話が進まないのです。だから、こういう小グループで議論するべきではないかと。そして、それをどんどん大き

くしていけばいいのであって。イデオロギー論争にならないようにしないといけないですね。

(F) まさにあれは書いてある通りで、なるほどということですね。

—— ええ。

(F) では、次の方、どうぞ。

—— 私になるほどと思ったのは、スです。差別と考えているのは専門家の方だけだと。確かに、私としても、差別として使っている意識はまったくありません。

(総合 F) あと 5分で発表タイムです。よろしくお願いします。

—— 差別っぽく聞こえてしまう。たぶんそのことに問題があるのだと思うのですけれども、私は差別として使っていません。

(F) 認識が違うということに「なるほど」と思ったということですね。  
では、次の方。

—— 私は、医学界は閉鎖的だったが、今は改善されつつあるという意見に対して、なるほどというか、それをすべきだなと痛感しています。説明責任がカギであるということと、他分野の事例を参考にするということが、そもそも壁の解消であるし、第一歩というのはありますね。

(F) では、そちらの方、お願いします。

—— やはり〔安全性に対する疑問〕は、国民皆さんが思っているのではないかと考えて、選んだのですけれども。情報はいろいろあるのですけれども、使用済み後の処分、安全性について語られているのか。あと、原子力発電所はいろいろあるのですけれども、今後どうするのか。安全性を皆さん思っていると思うので、それに絡めて思ったことを書きました。

(F) そうしたら、意見がいろいろ出ましたけれども、今出た意見に対して、私はこう思うとか、こういう意見もあるとかがありましたら、お願いしたいのですけれども。言いたそうな顔をしていますね。

—— これでしょうか。他分野の事例が参考になる。原子力だったら、チェルノブイリとスリーマイルがありますね。日本だったら、ええと、大洗でしたっけ？

—— 東海村。

(F) JCO。

—— そうですね、JCO とかがあるので、こういう原因で事故が起こった、だからこうしました、という事例があると、「じゃあ、今度動かすところはそうしているのですか？」「そうしています」となったら、ああ、安全がとれているんだなと思うじゃないですか。やはり他分野の事例があるとすごく参考になるというか、説明する上でも助かるはずじゃないですか。

(サブ F) 他分野の事例に学ぶべきことがあると。

(F) そちらの方はいかがですか？

—— 私は、自分のことでなんですけれども、おじが東海村で仕事をしていて、被ばくして、68 歳まで生きました。やはり長いスパンで考えないと。先ほどチェルノブイリの話をしましたけれども、あった当時は即廃止。(旧ソ連は) 日本と違って島国ではないので、非常に大きな影響がありました。ところが、今は、廃止というよりも、どうなのでしょう、原子力は使われていますよね。だから、それはある程度のスパンで考えないといけないと思います。

ただ、私は福島と違って、当事者ではないので、当事者ではないということを前提としての意見です。

それをきちんとやっていかないと、なかなか前に進んでいかないのではないのでしょうか。

(F) これまでの事故などを反省して、それを踏まえて長いスパンで見て、パッとすぐに決めるのではなくて、長い目で見ていくと。

—— はい。で、先ほどイデオロギーの話がありましたけれども、そうなってしまうと停止してしまい、前に進まなくなってしまうのですよ。私が長く生きている身として考えると、それが起きると、皆さんの意見が前に、いわゆる行動という形になっていかなくて、改善がされていかないのです。いろいろな問題がそういう状況になっていると思うのですけれども。憲法もそうですし。

原子力も、喧々諤々議論していると言っていますけれども、議論が散々されてきているのだから、もう総括されているのではないかと思うのです。なのに、なぜ前に進まないのかなど。だから、前に向かってやっていってほしいなと思いますね。我々団塊の世代が生存しているうちにそれを進めていってほしい。

—— 私は少し違う意見でして。本当に理解して議論しているのか。そういった会合に出席したことがあるのですが、お互いに、言っていることがまったくかみ合わないのです。ずっと自分たちの主張をしていて。

(F) かみ合わない。お互いの主張し合わない。

—— そうです。

(総合 F) 意見共有の準備ができた班は、ファシリテーターさん、あるいはサブファシリテーターさん、合図をお願いします。

—— それはどうしてかという、大人数で議論しているからです。1つの会場に50人も100人もいて。そうすると、建前が通ってしまうのです。少人数で議論すると、お互いの本音が出るのではないかと思います。

(サブ F) 大勢だとそういうふうになってしまうけれども、小さいとお互いの意見が出る、ということですね。

—— イデオロギーというのは、なぜ原子力というものが出てきてしまったのか、発見されたのか、人類にとって必要ないものができてしまったのではないか、という発想で、そういう発想になると、議論にならないのですね。そういった地球規模の話になってしまうと、もう黙るしかなくなってしまう。我々としては、じゃあ福島の人はどうなのか、という思いが頭にあるのに。停滞してしまって、前に進まないのですよ。私はそういうことをずっと経験しているのですよ。若い人のことを考えたら、やはり前に進めてほしい。

(F) 前に進める。前に、というのはどういう意味ですか？

—— 私が言っているのは、改善という意味です。

(F) こういうふうな安全性の話とか、規制とかも含めて、改善をしてほしいと。

(サブ F) 技術も含めて、改善を、

(F) 技術もそうだし、

—— だから、いろいろなものがそうなのですよ。

(総合 F) 発表の準備が整ったところは、私に合図をお願いします。

(F) ええと、発表者はどなたでしょうか？

—— 私です。

最後に 1 つだけいいですか？ 先ほどの、議論の前提が違うというのがまさにポイントだと思っています。いや、「前提が違うことを理解する」ということでしょうか。要するに、議論をするときに、スタートポイントがもうお互いに違うのだということを、否定するのではなくて、だからこそ議論をするわけであって。「同じポイントから始めたい」というのは、自分の意見を引っ張ることになって、「これ一本にしるよ」ということになりかねないので。

—— おっしゃる通りです。なんでもそうだと思うのだけど、やはり信頼関係じゃないですか。同じ人間だということを最初の前提に持ってこないと。

(F) 大事なキーワードが出た気がしますね。

(サブ F) この並びでよろしいですか？

—— そうですね、いいと思います。

(サブ F) 発表しやすいようにしてください。いや、ご自分の意見は意見でいいんですよ。ただ、総括するような意見がありましたら。

—— どうでしょうか。ちょっと書いてみましょうか。

(F) 確かに、余裕があれば意見やまとまりについて、「見える化」しましょうとあります。今、いろいろな意見が出ましたけれども、時間もあると思うので、これは共有しておきたいということがありましたら、おっしゃってください。

—— [他分野の事例を参考に] というのは、情報が足りなかったということですか？

—— いえ、例えば医学界は改善したわけですね。そういった事例を参考にして、どうしていくべきなのかを、

—— 話し合う場が必要だったのですか？

—— いえ、ええと、そもそも学ばなければいけないということです。答えはどこにあるか分からないので、それこそ（業界の壁を）取っ払って、他の分野がどうしているかを学ぶということです。

—— 横断的に考える必要があるということでしょうか。

(総合 F) そろそろよろしいでしょうか？ 私に合図をください。

(サブ F) よろしいですか？

(F) それでは、発表をしていただけますか。お願いします。

(サブ F) では、貼ってもいいでしょうか？

(模造紙をホワイトボードに貼り、いろいろと書き込む)

(サブ F) こんな感じでよろしいでしょうか？

—— はい。

(総合 F) 全体発表の1番はB班でお願いします。私に合図が来ました。

<グループワーク 2 終了>